

2014年1月19日 実施

平成25年度（第50回）
情 報 処 理 検 定 試 験
第 3 級 筆 記 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は20分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数1桁で表される情報の最小単位。
2. コンピュータの画面やA V機器などの映像をスクリーンに投影する装置。
3. データの値が大きいものから順番に並んでいること。
4. アイコンなどの視覚的な要素を用い、マウスなどで直感的に操作できるようにした環境。
5. データを一定期間ためておき、一括して処理する方式。

解答群

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| ア. 降順 | イ. バッチ処理 | ウ. 昇順 |
| エ. マウスポインタ | オ. プロジェクタ | カ. H D M I |
| キ. ビット | ク. バイト | ケ. G U I |
| コ. リアルタイム処理 | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- < A 群 >
- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1. タッチパネル | 2. ユーザ I D | 3. 演算装置 |
| 4. 検索エンジン | 5. R O M | |

< B 群 >

- ア. コンピュータの五大装置のうち、計算および比較判断を行う装置。
- イ. コンピュータシステムにおいて、利用者を識別するために用いられる数字や文字の組み合わせ。
- ウ. インターネットにおいて、H T M L 文書や画像などのファイルが保存されている場所を示すアドレス。
- エ. コンピュータの五大装置のうち、記憶装置内の命令を取り出して解読し、各装置に指示を与える装置。
- オ. 写真やイラストなどの画像を読み取り、デジタルデータとして入力する装置。
- カ. データの読み出しのみができ、電源を切っても記憶内容が消えないメモリ。
- キ. 電子メールを複数の相手に同時に送信する方法の1つで、受信者は、送信者が他の誰に送信したかは分からないしくみ。
- ク. インターネットにおいて、キーワードを入力することにより、目的のW e b ページを効率よく見つけることができるサービス。
- ケ. データの読み書きが自由にでき、電源を切ると記憶内容が消えてしまうメモリ。
- コ. ディスプレイ上に表示された絵や写真、マークなどを、指先などで直接触れることによって入力する装置。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の31を2進数で表したもの。

ア. 1 0 0 0 1

イ. 1 1 1 1 1

ウ. 1 1 1 1 1 0

2. 1,000,000分の1秒を表す時間の単位。

ア. μ s

イ. ns

ウ. ps

3. 青少年にとって好ましくないWebサイトの閲覧などを制限する機能。

ア. ハイパーリンク

イ. 有害サイト

ウ. フィルタリング

4. 初期化とも呼ばれ、記憶媒体を利用できるようにするための作業。

ア. ポイント

イ. ディレクトリ

ウ. フォーマット

5. Webページのデータが保存されており、ブラウザからの要求に応じて情報を送信するコンピュータ。

ア. プロバイダ

イ. Webサーバ

ウ. プリントサーバ

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある企業の諸経費集計表である。D列および10行目には、あらかじめ式が設定されており、C8の値を変更すると自動的にD8, C10, D10の値もそれぞれ変更された。この機能の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 絶対参照
イ. 相対参照
ウ. 再計算

	A	B	C	D
1	諸経費集計表			
2	費目	11月	12月	前月との差
3	通信費	19,130	24,109	4,979
4	水道光熱費	24,590	27,512	2,922
5	旅費交通費	11,210	14,290	3,080
6	福利厚生費	5,000	5,000	0
7	消耗品費	1,749	5,747	3,998
8	雑費	1,107	537	-570
9	合計	62,786	77,195	14,409
10				

問2. 次の表は、ある図書館の貸出図書返却日の案内である。B3に入力されている内容をA4に移動したい。その際に行う操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. コピー&ペースト

イ. カット&ペースト

ウ. カーソル

	A	B
1	貸出図書返却日の案内	
2		
3		今日の日付
4		12月11日
5	返却日	12月25日

問3. 次の表は、ある国の産業分類別労働者数上位6業種の表である。「労働者数」に3桁ごとのコンマを表示したい。指定するボタンとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア.



イ.



ウ.



	A	B
1	産業分類別労働者数上位6業種	
2	産業分類	労働者数
3	卸売業, 小売業	9804992
4	製造業	9626035
5	医療, 福祉	6128414
6	建設業	4475279
7	宿泊業, 飲食サービス業	3423083
8	運輸業, 郵便業	3219480
9		

問4. 次の表は、あるゴルフ大会成績表である。「順位」は、「合計」の昇順に順位をつける。E4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =RANK(C4,\$C\$4:\$C\$9,1)

イ. =RANK(D4,\$D\$4:\$D\$9,1)

ウ. =RANK(D4,\$D\$4:\$D\$9,0)

	A	B	C	D	E
1	ゴルフ大会成績表				
2	名前	1日目	2日目	合計	順位
3	浅田 ○○	-4	-3	-7	2
4	岡本 ○○	0	3	3	5
5	加藤 ○○	-5	-5	-10	1
6	工藤 ○○	2	3	5	6
7	田中 ○○	-3	-1	-4	4
8	山田 ○○	-1	-4	-5	3
9					

問5. 次の表は、ある企業の保管文書管理一覧表である。「文書番号」の左端から4文字は、作成年度を表している。「作成年度」を抽出するために、B4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =LEFT(A4,4)

イ. =MID(A4,4,4)

ウ. =RIGHT(A4,4)

	A	B	C
1	保管文書管理一覧表		
2	文書番号	作成年度	保管場所
3	2003管理4981	2003	書庫32
4	2003人事9820	2003	キャビネット19
5	2003総務1098	2003	書庫23
6	2008経理2481	2008	書庫1
7	2008総務2023	2008	書庫24
8	2012管理8738	2012	書庫32
9	2012人事7832	2012	キャビネット22
10			

問6. 次の表のD 2 には、次の式が設定されている。D 2 に表示される値を答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	1	2	4	※

$$=A2*(1-B2^{\wedge}C2)/(1-B2)$$

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問7. 次の表は、あるチェーンストアの12月の支店別売上目標と達成額の表である。「判定」には、次の式が設定されている。D 4 に表示される値として適切なものを選び、記号で答えなさい。

$$=IF(C4>=B4*1.2, "◎", IF(C4>=B4, "○", "×"))$$

	A	B	C	D
1				
2	12月の支店別売上目標と達成額			単位：千円
3	支店名	売上目標	達成額	判定
4	東町	2,500	2,000	※
5	西町	2,900	2,400	※
6	南町	3,200	3,900	※
7	北町	5,300	5,750	※
8	北新町	4,700	5,100	※
9	合計	18,600	19,150	

(注) ※印は、値の表記を省略している。

ア. ◎

イ. ○

ウ. ×

問8. 次の表は、ある惣菜店の揚げ物売上表である。「土日の売上割合」は「土」と「日」の合計を「週間合計」で割って求める。J 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、小数第3位未満を四捨五入し、％で小数第1位まで表示する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	揚げ物売上表									単位：個
3	品名	月	火	水	木	金	土	日	週間合計	土日の売上割合
4	コロッケ	21	72	51	84	44	65	74	411	33.8%
5	ハムカツ	24	36	15	68	105	42	37	327	24.2%
6	メンチカツ	18	23	38	23	20	81	78	281	56.6%
7	チキンカツ	23	57	66	73	61	53	49	382	26.7%
8	エビフライ	35	51	77	36	15	22	36	272	21.3%
9	合計	121	239	247	284	245	263	274	1,673	

ア. =ROUND((G4+H4)/I4,3)

イ. =ROUND((G4+H4)/I4,1)

ウ. =ROUND((G4+H4)/I9,3)

問9. 次の表とグラフは、ある国の主な木材の需要量を集計したものである。次の(1)、(2)に答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	主な木材の需要量					単位：百万㎡
3	使用用途	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
4	製材	23,568	14,279	15,762	16,726	16,947
5	木材チップ	4,482	3,417	4,151	4,286	5,566
6	合板	3,986	3,107	3,811	4,058	4,437
7	合計	32,036	20,803	23,724	25,070	26,950

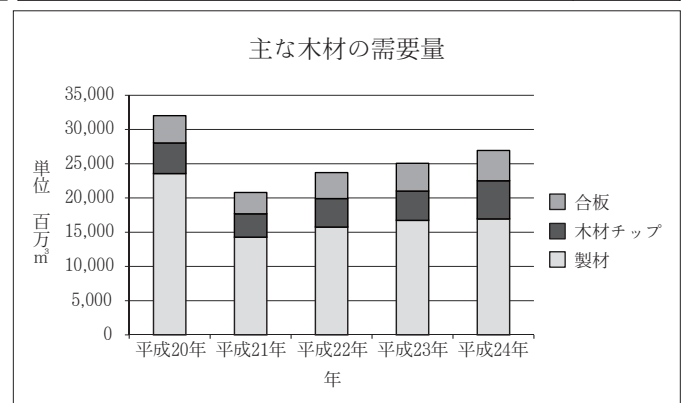
(1) 作成されたグラフのデータ範囲として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. A3:F6

イ. A3:F7

ウ. B3:E6

(2) グラフから読み取った内容として正しいものを選び、記号で答えなさい。



ア. 主な木材の需要量は、平成20年から年々増加している。

イ. 毎年、製材の需要量は、合板と木材チップの合計より多い。

ウ. 平成24年の木材チップは、合板の2倍の需要量があった。

【5】 次の表は、ある青果店の種類別売上金額の資料にもとづき、作成されたものである。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

資料

春期種類別売上金額

単位：千円

種類	金額
いちご	4,021
かき	-
すいか	953
バナナ	947
ぶどう	265
みかん	625
もも	-
りんご	1,618

夏期種類別売上金額

単位：千円

種類	金額
いちご	4,618
かき	-
すいか	3,817
バナナ	2,845
ぶどう	3,708
みかん	468
もも	8,685
りんご	878

秋期種類別売上金額

単位：千円

種類	金額
いちご	-
かき	2,058
すいか	-
バナナ	3,337
ぶどう	4,768
みかん	5,940
もも	1,165
りんご	2,296

冬期種類別売上金額

単位：千円

種類	金額
いちご	-
かき	391
すいか	-
バナナ	3,091
ぶどう	-
みかん	8,913
もも	-
りんご	1,955

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	種類別売上金額一覧表								
3	単位：千円								
4	種類	春期	夏期	秋期	冬期	年間合計	平均	割合	備考
5	いちご	4,021	4,618	-	-	8,639	4,320	12.8%	○
6	かき	-	-	2,058	③	2,449	1,225	3.6%	
7	すいか	953	3,817	-	-	4,770	2,385	7.1%	
8	バナナ	947	2,845	②	3,091	10,220	2,555	15.2%	
9	ぶどう	265	3,708	4,768	-	8,741	2,914	13.0%	
10	みかん	625	①	5,940	8,913	15,946	3,987	23.7%	○
11	もも	-	8,685	1,165	-	④	4,925	14.6%	○
12	りんご	1,618	878	2,296	1,955	6,747	1,687	10.0%	
13	合計	8,429	25,019	19,564	14,350				
14	最大	⑤	8,685	5,940	8,913				
15	最小	265	468	1,165	391				
16	取扱種類数	6	7	6	4				

作成条件

1. 資料を参考にして、B 5～E 12に売上金額を入力する。ただし、取り扱いの無かった種類は、 - を入力する。
2. 「年間合計」は、「春期」から「冬期」までの合計を求める。
3. 「平均」は、「春期」から「冬期」までの平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
4. 「割合」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

「各種類の年間合計 ÷ 売上金額の総合計」

5. 「備考」は、「平均」が3,000を越えた場合は ○ を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。
6. 「合計」は、各列の合計を求める。
7. 「最大」は、各列の最大値を求める。
8. 「最小」は、各列の最小値を求める。
9. 「取扱種類数」は、各列の売上金額が入力されているセルの数を求める。

問1. 表の①～⑤の数値を答えなさい。

問2. H 5 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をH12までコピーするものとする。

- ア. =F5/SUM(F5:F12)
- イ. =F5/F12
- ウ. =F5/SUM(\$F\$5:\$F\$12)

問3. I 5 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =IF(G5<3000, "○", "")
- イ. =IF(G5>3000, "○", "")
- ウ. =IF(G5>3000, "", "○")

問4. B 15に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =MIN(B5:B12)
- イ. =MAX(B5:B12)
- ウ. =AVERAGE(B5:B12)

問5. B 16に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =COUNT(B5:B12)
- イ. =COUNTA(B5:B12)
- ウ. =COUNT(B5:B15)

(平成26年 1 月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
平成25年度（第50回）情報処理検定試験 第3級 筆記
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

問 6	問 7	問 8	問 9	
			(1)	(2)

【5】

問 1				
①	②	③	④	⑤

問 2	問 3	問 4	問 5

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成26年 1 月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
平成25年度（第50回）情報処理検定試験 第3級 筆記
審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	キ	才	ア	ケ	イ	

【2】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	コ	イ	ア	ク	カ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	イ	ア	ウ	ウ	イ	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各3点 計15点
	ウ	イ	ウ	イ	ア	

問6	問7	問8	問9		各4点 計20点
			(1)	(2)	
15	ウ	ア	ア	イ	

【5】	問1					4点
	①	②	③	④	⑤	
	468	3,337	391	9,850	4,021	

※

問2	問3	問4	問5	各4点 計16点
ウ	イ	ア	ア	

※ ①～⑤のすべてができて正答とする。「,」なし可。

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2014年1月19日 実施

平成25年度（第50回）
情 報 処 理 検 定 試 験
第 3 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「シート1」の A 1 のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

あるストーブ販売会社は、調査会社に自社製品の評価を依頼し、その結果を得た。資料と作成条件にしたがって、シート名「シート 1」を作成しなさい。

資料

製品別ストーブ評価					
製品番号	省エネ度	デザイン	速暖性	静音性	サイズ
J-122ES	3.5	4.8	4.0	3.3	3.9
J-136GF	3.9	3.4	3.6	3.9	4.8
J-205SF	4.6	4.6	4.5	4.2	4.1
J-213GH	4.2	3.3	3.4	3.3	3.6
J-243SS	3.9	3.7	4.1	3.5	3.7
J-329GS	3.3	3.6	3.8	3.2	3.0
J-361ST	3.0	4.0	3.8	3.8	3.3
J-484EC	3.1	3.4	3.2	4.5	3.5
J-578EF	2.9	3.7	3.4	4.4	3.1

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔設定する書式：罫線の種類〕
〔設定する数値の表示形式：小数の表示桁数〕

2. 表の※印の部分は、式や関数を利用して求める。また、※※印の部分は、資料より必要な値を入力する。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「製品別ストーブ評価表」は、次のように作成する。

(1) 「総合評価」は、「省エネ度」から「サイズ」までの合計を求める。

(2) 「独自評価」は、次の式で求める。ただし、小数第 1 位まで表示する。

「(省エネ度 + デザイン) × 1.3 + 速暖性 + (静音性 + サイズ) × 0.7」

(3) 「備考」は、「独自評価」が「総合評価」より大きい場合は ○ を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。

(4) 「平均」は、各列の平均を求める。ただし、小数第 1 位まで表示する。

(5) 「最高」は、各列の最大値を求める。ただし、小数第 1 位まで表示する。

(6) 「最低」は、各列の最小値を求める。ただし、小数第 1 位まで表示する。

(7) 表の作成後、5 ～13行目のデータを「総合評価」を基準として、降順に並べ替える。

(8) 集合横棒グラフは、「製品別ストーブ評価表」から作成する。

① 数値軸の目盛りは、最小値 (15.0)、最大値 (23.0) および間隔 (2.0) を設定する。

② 軸ラベルの方向を設定する。

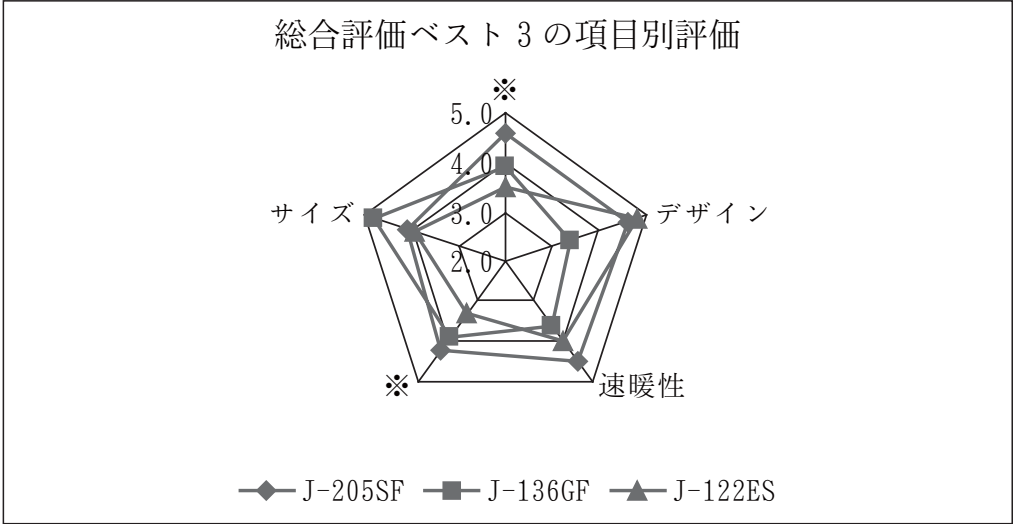
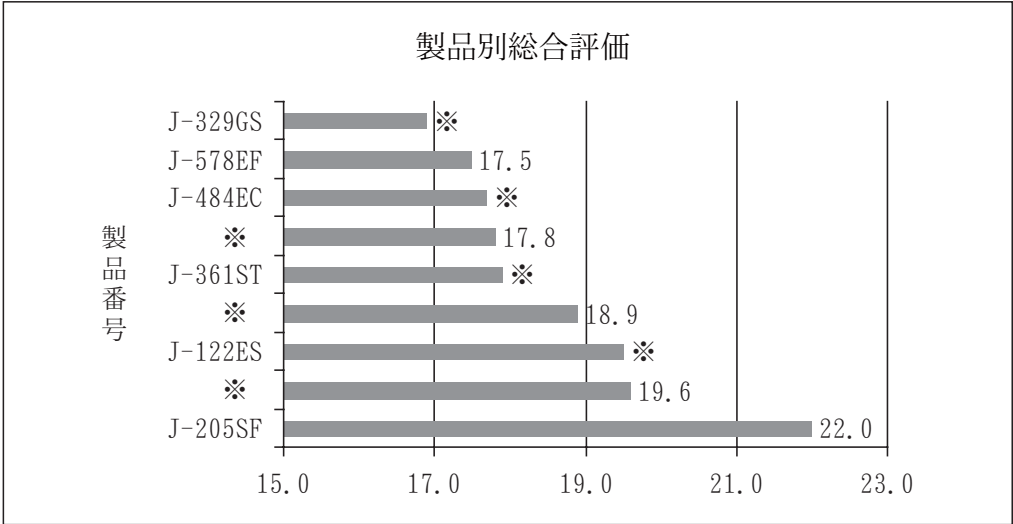
(9) レーダーチャートは、「製品別ストーブ評価表」から作成する。

① グラフ化する範囲は、「総合評価」の上位 3 つについて「省エネ度」から「サイズ」までを指定する。

② 数値軸の目盛りは、最小値 (2.0)、最大値 (5.0) および間隔 (1.0) を設定する。

③ 凡例の位置を設定する。

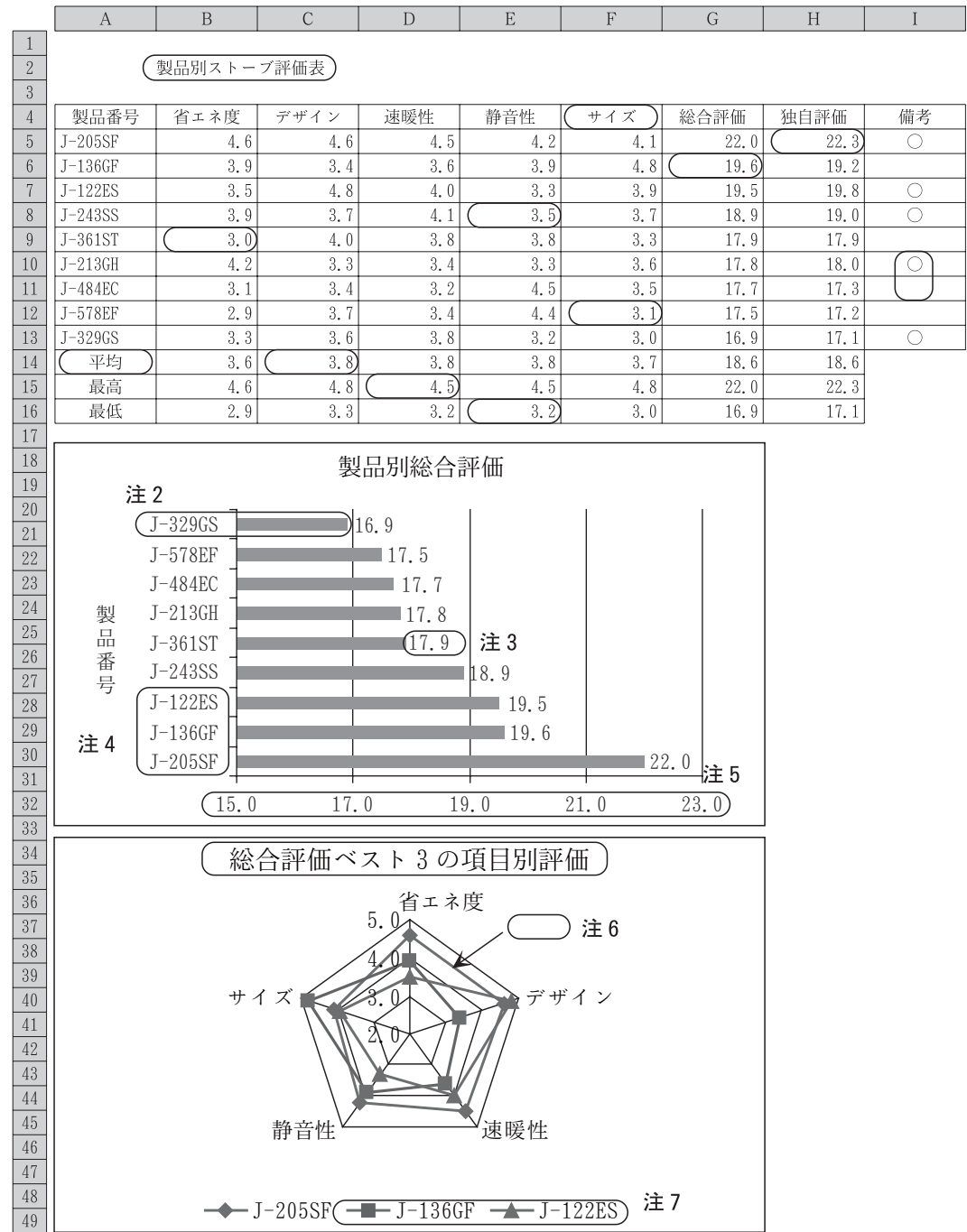
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	製品別ストーブ評価表								
3									
4	製品番号	省エネ度	デザイン	速暖性	静音性	サイズ	総合評価	独自評価	備考
5	J-122ES	3.5	4.8	4.0	3.3	3.9	19.5	19.8	○
6	J-136GF	3.9	3.4	3.6	3.9	4.8	※	※	※
7	J-205SF	4.6	4.6	4.5	4.2	4.1	※	※	※
8	J-213GH	4.2	3.3	※※	※※	※※	※	※	※
9	J-243SS	3.9	3.7	※※	※※	※※	※	※	※
10	J-329GS	3.3	3.6	※※	※※	※※	※	※	※
11	J-361ST	3.0	4.0	※※	※※	※※	※	※	※
12	J-484EC	3.1	3.4	※※	※※	※※	※	※	※
13	J-578EF	2.9	3.7	※※	※※	※※	※	※	※
14	平均	3.6	※	※	※	※	※	※	
15	最高	4.6	※	※	※	※	※	※	
16	最低	2.9	※	※	※	※	※	※	



主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成25年度（第50回）情報処理検定試験 第3級 実技

審査基準



- 配点
- ① 表の作成（ ）の箇所…… 5 点×12箇所＝60点

注1 J-213GH が ○，J-484EC が空白。

② 罫線…… 5 点× 1 箇所＝ 5 点

（「製品別ストーブ評価表」の罫線がすべて設定されている）

③ グラフの作成（ ）の箇所…… 5 点× 7 箇所＝35点

注2 J-329GS が集合横棒グラフ。

注3 数値（17.9）。

注4 並び順。

注5 最小値（15.0），最大値（23.0）および間隔（2.0）。ただし，小数点以下が表示されていなくても可。

注6 J-205SF がレーダーチャート。

注7 位置はグラフの下側であること。順序，マーカーの種類は問わない。

※ 審査にあたっては，必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。